

シリーズで近隣の学校・施設を紹介して行きます

中延小学校

プランターの色彩やかな花々が出迎えてくれる中延小学校の校門から覗くと、まず目に映るのが大きなくすの木です。創立7年に本校で植えた時は、1m50cm程の小さな苗木でしたが、今は幹の周りが4m、高さ20mを超える大木となりました。昨年度、開校80周年を記念してマスコットキャラクター「くすのっきー」が誕生し、子供たちから親しまれています。緑あふれる中延の森は、自然環境の保護や生き物を愛護する心を育てています。

校門で元気よく挨拶を交わした子供たちは、まずは「元気アップタイム」で朝から体を動かします。季節によって、長縄跳び、マラソン、サーキットトレーニング等児童一人一人の体力向上に取り組んでいます。校歌のチャイムが流れると、授業の始まりです。電子黒板やタブレット等、ICT機器を活用した学習が展開され、友達と学び合う協働学習や個に応じた学習に取り組み、児童の学ぶ意欲も高まってきました。全校・全学年で取り組む特別支援学級と通常学級の交流、たてわり班(異年齢集団)活動、中延保育園(0歳児から)との交流活動は、全ての児童に、思いやりの心を育て、責任感や自立心を育てています。中延小学校は、みんなが名前と呼べる学校です。



宮前小学校

1年生29名を迎えてスタートした今年度の宮前小学校。若い先生も増えて、校内はフレッシュなやる気に満ちあふれています。宮前小学校では、以前から挨拶に力を入れています。毎朝、当番の子供たちが校門に立ち、友達や地域の方々に元気に挨拶をしています。当番活動は縦割班ごとに行っているため、自然と異学年交流の場にもなります。

また、昨年度よりタブレットPCを導入しています。子供たちは1人1台タブレットPCを手に取り、どんどん使いこなせるようになってきています。調べ学習や家庭学習でも使用しており、今後ますます活用していくことになるでしょう。他にも各教室にデジタル教科書や書画カメラも設置して、さらに効果的に授業で活用していきます。

以前からの良さをさらに膨らませ、新しいことへ進んでチャレンジしていく学校であり続けます。

